

(参考様式1)

暇ま建 第1833号
平成26年3月28日

国土交通大臣
太田 昭宏 様

四條 暇市長
土井 一憲

社会資本総合整備計画について

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について」第1第1項に基づき、別添のとおり社会資本総合整備計画を取りまとめたので提出する。

社会資本総合整備計画

平成 26年3月28日

計画の名称	1 四條畷市域の安全・安心を向上させるまちづくり		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	四條畷市
計画の目標			

市域の防災機能を高める公園整備などを促進し、災害に強いまちづくりを図るとともに、平常時は魅力的な地域資源として“まち”の魅力を向上させ、地域間交流の拡大を目指す。
また、多種目のスポーツ利用を促進し、市民の健康増進や競技環境の充実を図る。
さらに、災害時においても円滑な救護活動、物流の継続が可能となるよう道路整備などを促進し、災害に強いまちづくりを図る。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 防災機能を持つ公園整備を行うことにより、有事の際の広域避難地の面積を172haから23ha増やし、災害時に応援部隊の集結地として必要な面積を有する活動拠点が現在は無いが、1箇所確保する。 アクセス利便性向上と“まち”の魅力向上による地域間交流を拡大し、魅力的な“まち”への来訪者数を40%から100%に増やす。 市民の健康増進や“まち”の魅力向上に資する市民一人当たり公園面積を1.3m²/人から5.2m²/人に増やす。 市民等の屋外スポーツ活動への参加を活性化させ、利用者数を40%から100%に増やす。
-----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
	(H26当初)	(H28末)	(H30末)							
①広域避難地の増加 H26年度の広域避難地の面積+新しい広域避難地の面積	172ha	183ha	195ha	広域避難地は3箇所目も市有地としては初						
②地域防災拠点(集結地)の増加 H26年度の地域防災拠点(集結地)の箇所数+新しい地域防災拠点(集結地)の箇所数	0箇所	0箇所	1箇所							
③魅力的な地域資源を有する“まち”の来訪者の増加 【市内屋外運動施設の市外利用者数/H30年度の市内屋外運動施設の市外利用者数】×100	40%	60%	100%	サッカーにより市外利用者的大幅増が見込まれる						
④市民の健康増進や“まち”の魅力向上に資する市民一人当たり公園面積の増加 H26年度の市民一人当たり公園・緑地の面積+新しい公園の市民一人当たり面積	1.3m ² /人	3.1m ² /人	5.2m ² /人	サッカー・ラグビーの公式大会開催可。野球場も市内で唯一フルサイズとなる。						
⑤屋外スポーツ施設の利用者数の増加 【屋外スポーツ施設利用者数/H30年度の屋外スポーツ施設利用者数】×100	40%	60%	100%							
全体事業費	合計(A+B+C)	973百万円	A	600百万円	B	280百万円	C	93百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	9.6%

交付対象事業

A 都市公園事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
1-A-1	公園	一般	四條畷市	直接	四條畷市	四條畷市総合公園整備事業	公園整備 S=22.5ha	四條畷市						600	
合計													600		

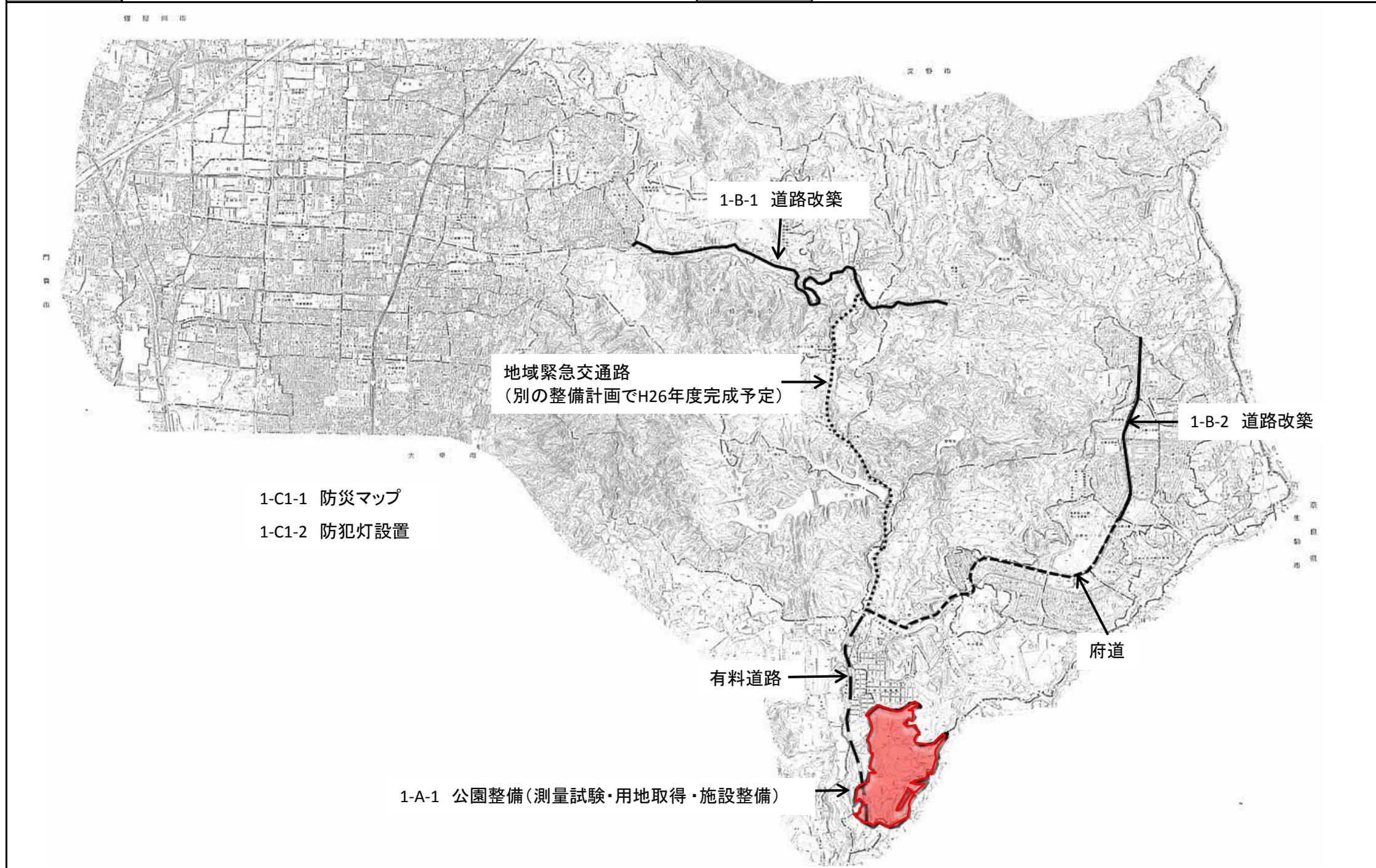
B 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H26	H27	H28	H29	H30		
1-B-1	道路	一般	四條畷市	直接	-	市町村道	改築	0.55	(他) 清滝下田原線	道路改築 L=2.77km	四條畷市					200		
1-B-2	道路	一般	四條畷市	直接	-	市町村道	改築	0.55	(他) 田原中央線	道路改築 L=1.23km	四條畷市					80		
合計													280					

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
1-C-1	防災活動	一般	四條畷市	直接	四條畷市	防災啓蒙活動	防災マップ作成	四條畷市						3	全戸配布
1-C-2	施設整備	一般	四條畷市	直接	四條畷市	防犯灯設置事業	防犯灯4000基	四條畷市						90	市全域
合計													93		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	防災マップの作成を防災機能を持つ公園事業(1-A-1)と一体的に実施することにより、市民に最新の防災情報を提供し、防災に対する市民意識の啓蒙を図る。	全戸配布
1-C-2	防犯灯整備を防災機能を持つ公園事業(1-A-1)と一体的に実施することにより、まちを明るくし、まちの安全・安心の向上を図る。	市全域

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 四條畷市域の安全・安心を向上させるまちづくり	交付対象	四條畷市
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)		



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 四條畷市域の安全・安心を向上させるまちづくり

事業主体名: 四條畷市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○